

【寄居町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及びクラウドを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体化した学習活動を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

2. GIGA 第1期の総括

本町ではGIGAスクール構想実現のため、一人一台端末及びネットワーク環境の整備を行ってきました。町内全校でネットワーク環境を整備し、児童生徒のみならず、指導者用端末も整備することで、教職員による児童生徒への円滑な学習サポートが実現できています。また、専門的知識をもつICT支援員を各校に月2回派遣することで、トラブル対応だけでなく、授業で使用する端末等の準備や操作補助、ICT機器の活用提案を受け、ICT機器を活用した円滑な授業運営が可能となり、児童生徒一人一人に対しての個別最適な学びが実現しました。

なお、端末の動作不良や落下等の人的要因による故障が多数見受けられることから、次期端末更新では、国のガイドラインによる端末の最低スペックが現状よりも性能が高く、堅牢であるため、本スペックを満たした端末を予備機も含め十分に確保していく必要があります。

3 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

端末の持ち帰りを日常化し、デジタル教材等を活用し、家庭学習を充実させます。

(2) ICT支援員の配置

児童生徒や教職員のICT活用能力の向上のため、ICT支援員を継続的に配置します。ICT支援員が複数校を兼務することで、実践事例等を学校間で共有します。

(3) 個別最適な学び

学習ドリルを活用したり、英語科において音読のスピードを調整したりするなど、学び方を児童生徒一人一人が選択します。

また、国外からの転入・入学による多様な文化・言語背景を持つ児童生徒の受け入れに対し、一人一台での端末を利用したコミュニケーションを取る方法としても利用していきます。

(4) 協働的な学び

オンライン上での発表ツールを活用するなど、児童生徒同士が一緒に調べたり、考えを共有したりします。

(5) 学びの保障

リモート授業を円滑に実施できる環境を維持し、不登校児童生徒や特別な配慮を要する児童生徒に対して、必要な支援を行います。